

# 日々の業務を通して人材育成につなげる

(埼玉県三芳町の事例から)

人口：38,401人  
(平成29年4月末現在)

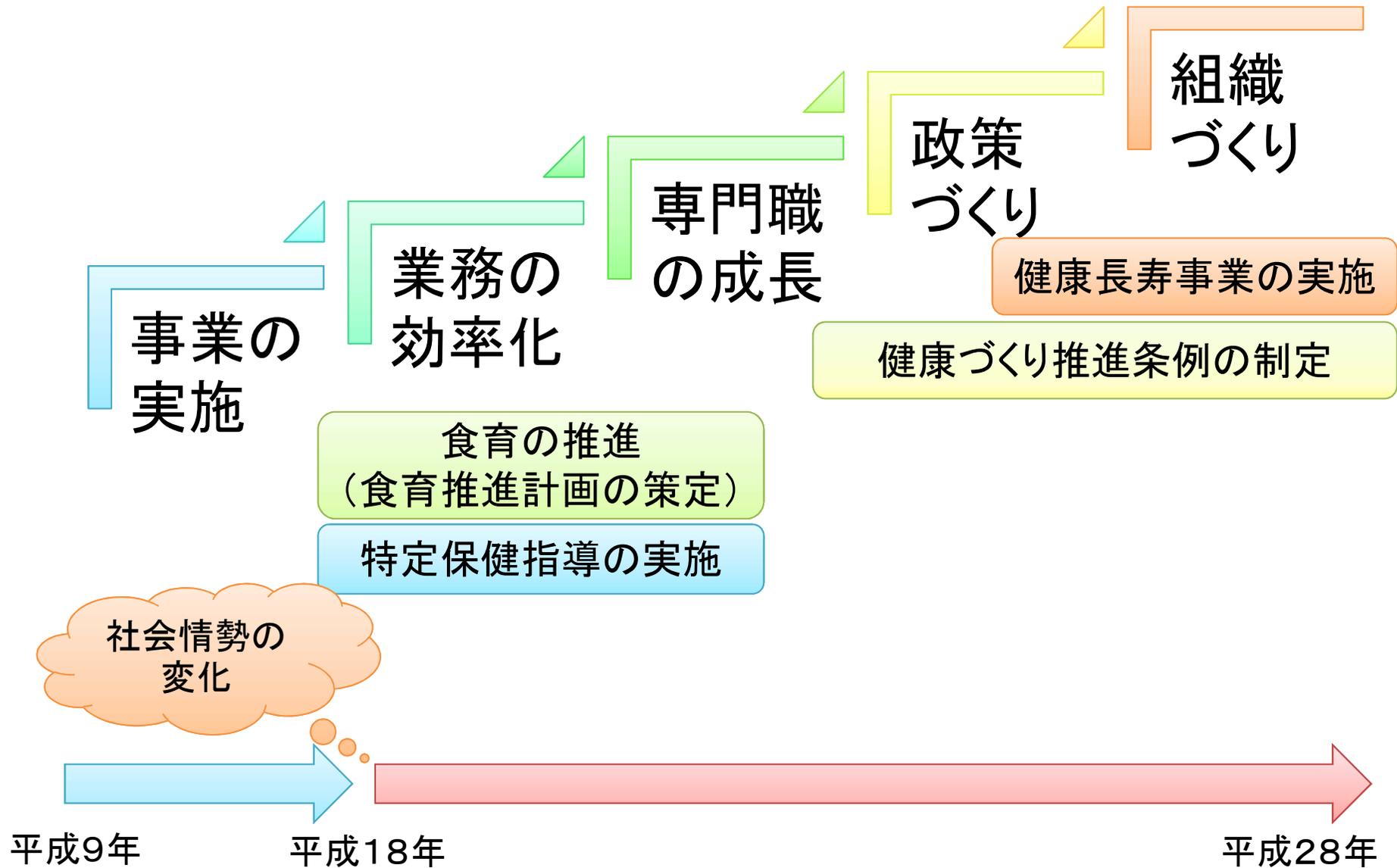
## 《行政栄養士配置数》

保健センター	常勤	1名
	非常勤	1名

## 《その他配置先》

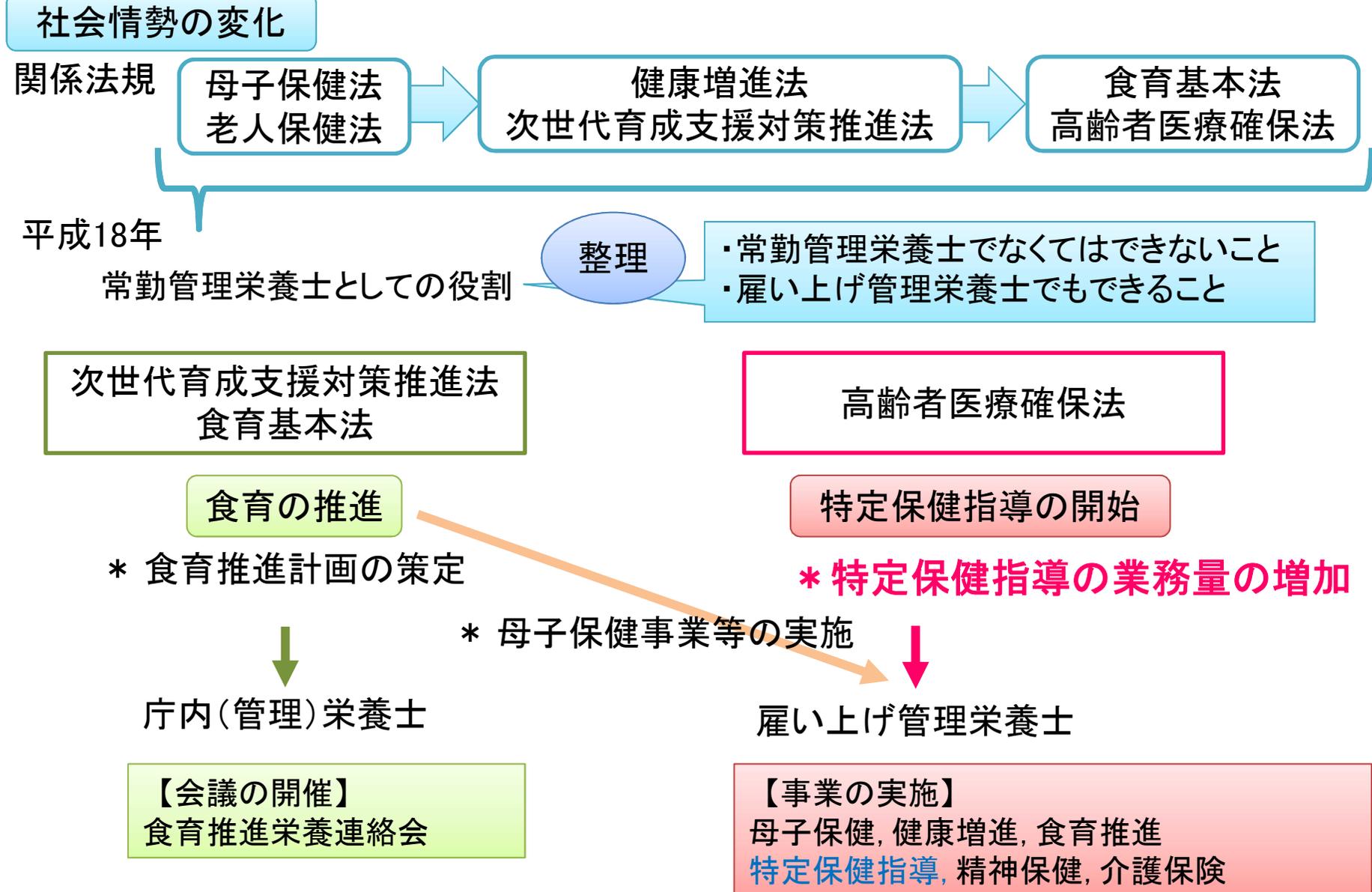
学校給食センター	町職員	1名
保育所	町職員	1名

# 事例3と事例11のポイント



# 業務の効率化①

## 業務量の勘案・財源等の検討



# 特定保健指導仮想業務量 服薬除く

## 動機づけ支援

健診受診率	保健指導 45%	30分～80分	8h/day	業務量 240日/年
35%	190 人	95～254 時間	12～32 日	5.0～13.3 %
65%	353 人	177～471 時間	23～59 日	9.6～24.6 %

## 積極的支援

健診受診率	保健指導 45%	145分～220分	8h/day	業務量 240日/年
35%	111 人	269～407 時間	34～51 日	14.2～21.3 %
65%	204 人	493～748 時間	61～94 日	25.4～39.2 %

## 動機づけ＋積極的支援

健診受診率	8h/day	業務量 240日/年
35%	46～83 日	19.2～34.6 %
65%	84～153 日	35.0～63.8 %

可能？  
不可能？

資料：平成19年度(社)日本栄養士会 全国行政栄養士研修会時に作成

# 専門職の成長① 人材確保と育成

## 《人材の確保》

### 【三芳町在住者の確保】

- ・地域での幅広い活躍が望める
- ・食環境の情報入手がより可能

### 【未経験者可】

- ・免許取得状況と職務実態  
↓（推測）
- ・地域にいる有資格者

## 《育成プロセス》

目標: 事業計画に基づく健康教育の媒体を作成し事業を実施することができる。

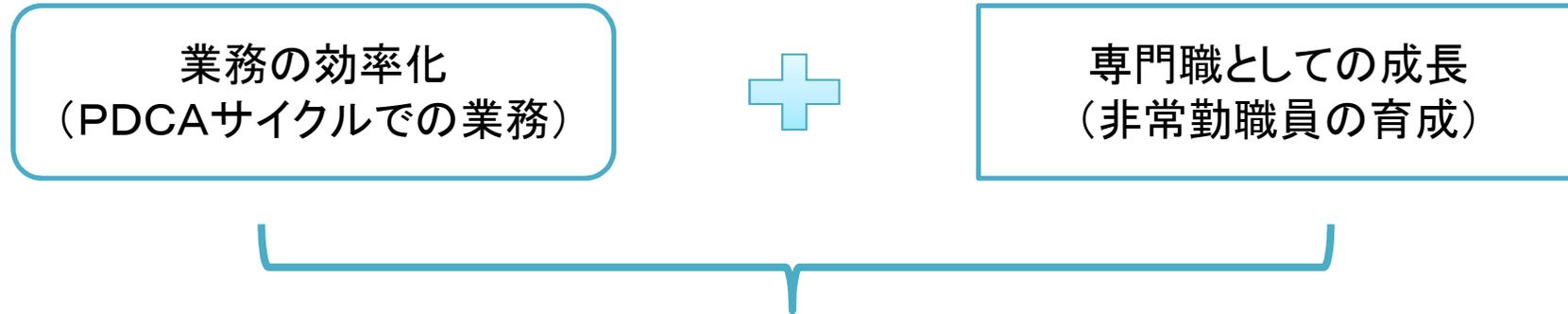
実施期間 平成19年1月～3月	回数	方法及びポイント	主内容
講義	5	講義及びグループワーク	関係法規・行政栄養士 自主学習の方法について
事業見学(母子保健)	12	事業見学後の振り返り	乳幼児健診・育児学級 等 健康教育・地区組織支援事業 低栄養予防
(老人保健)	3		
(介護予防)	3		

平成19年4月～ 業務と並行し実践形式(ロールプレイ等)を実施

常勤管理栄養士は「栄養施策の見直し」と「嘱託管理栄養士のサポート」

資料: 第57回日本栄養改善学会(埼玉)示説発表資料を一部改変

## 専門職の成長②



### ○ 育成方法について

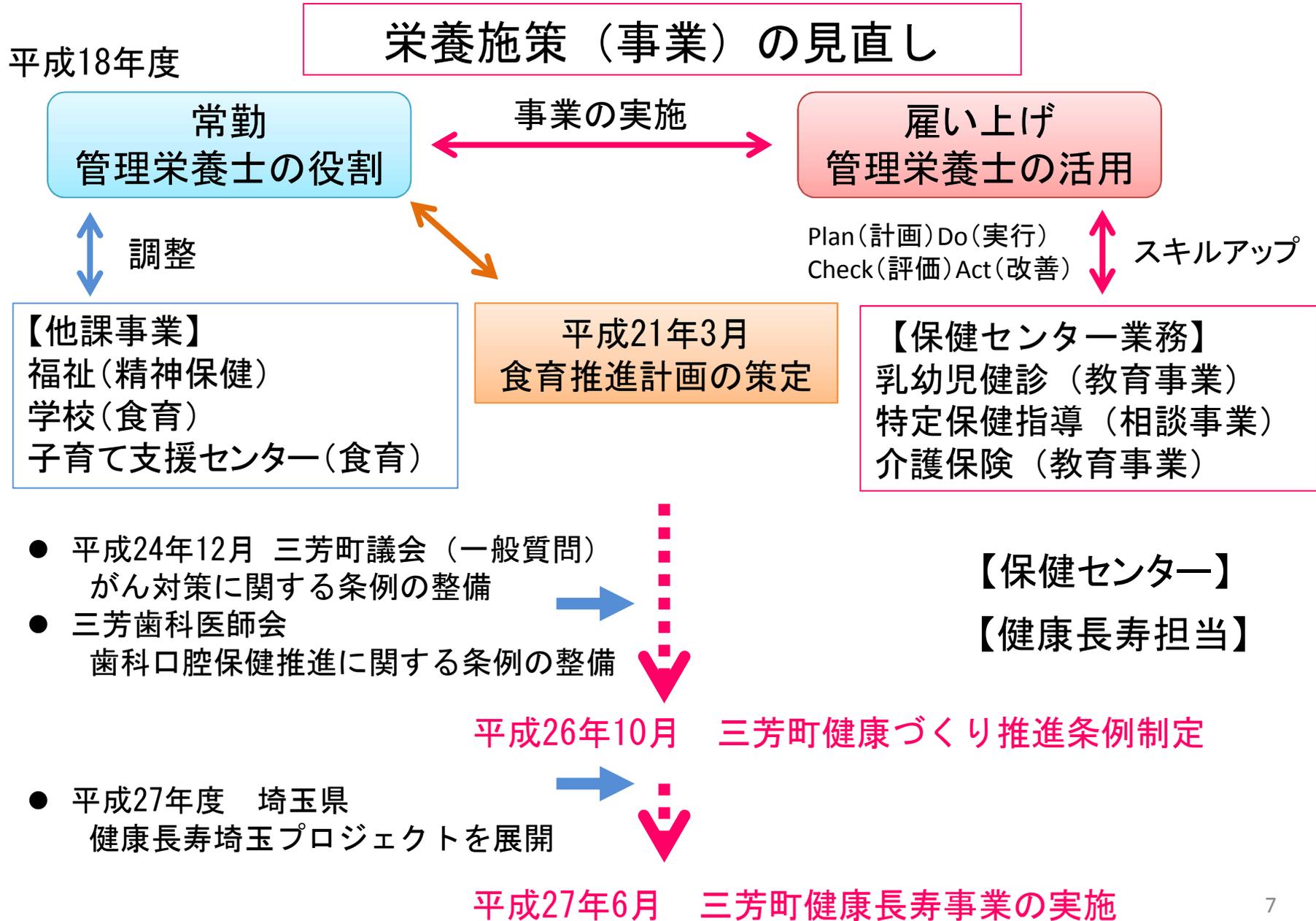
- 実戦形式(ロールプレイやケース検討)の効果が高い。
- 実践練習の繰り返しは自信につながる。
- 知識の習得に関しては、自分で補える。

### ○ 計画(Plan)実施(Do)評価(Check)改善(Act)のプロセス

- 枠組を考えるまでが大変である。
- 繰り返すことで経験が積み重なる。
- 住民の反応を意識し、確認しながら事業内容を変えられるというおもしろさを実感できる。
- より良くしたいという思いがでる。

《育成》  
安心感・責任感・達成感

# 業務の効率化②



# 条例の制定による効果

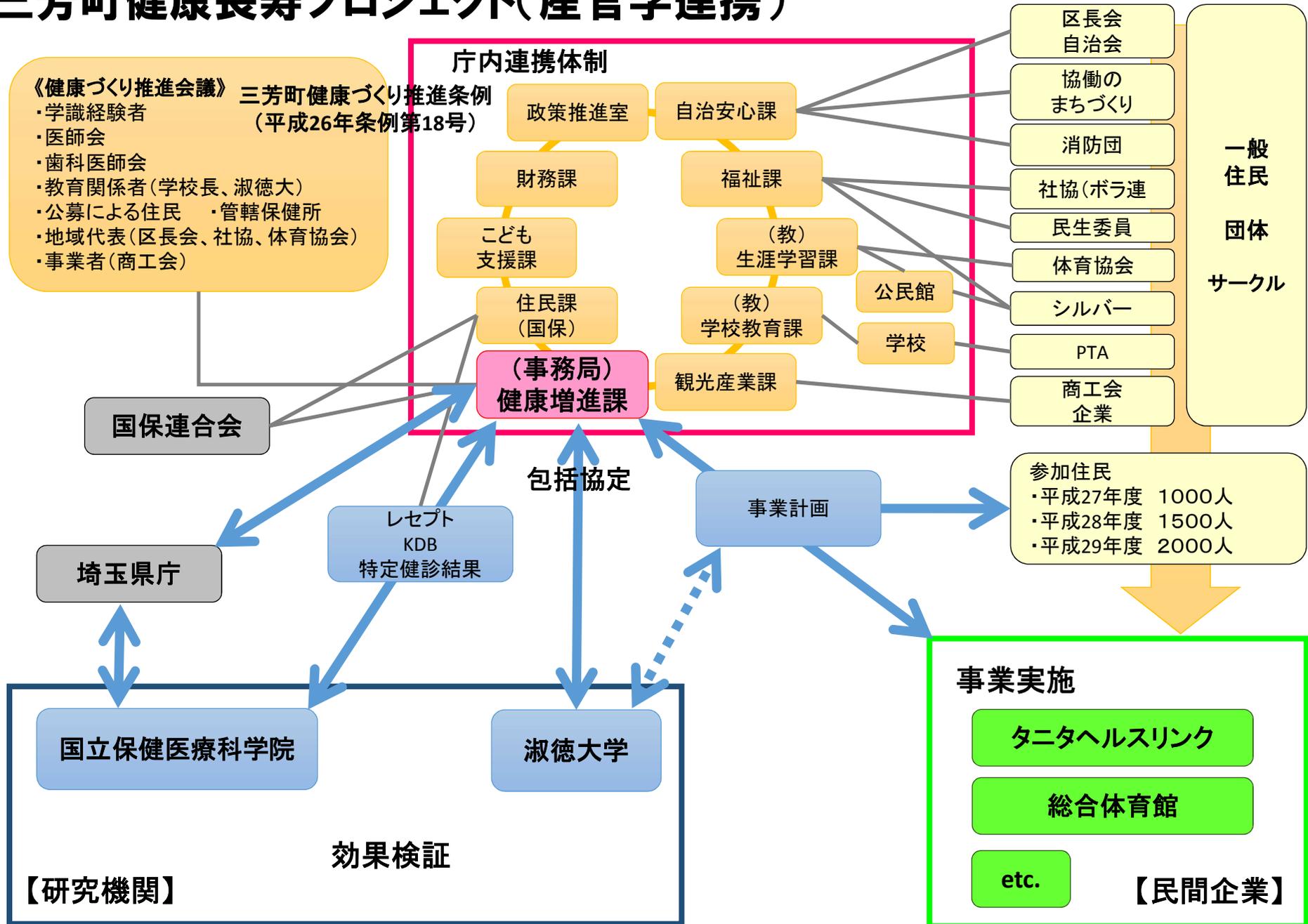
## 定性的観点

- ✓ 健康づくり推進における法的基盤が整う  
⇒健康増進法、食育基本法、がん対策基本法、歯科口腔保健法、……
- ✓ 健康づくりにおける議論が繰り返される  
⇒議会や健康づくり推進会議における議論
- ✓ 庁内の健康づくり推進における体制の横断的な整備

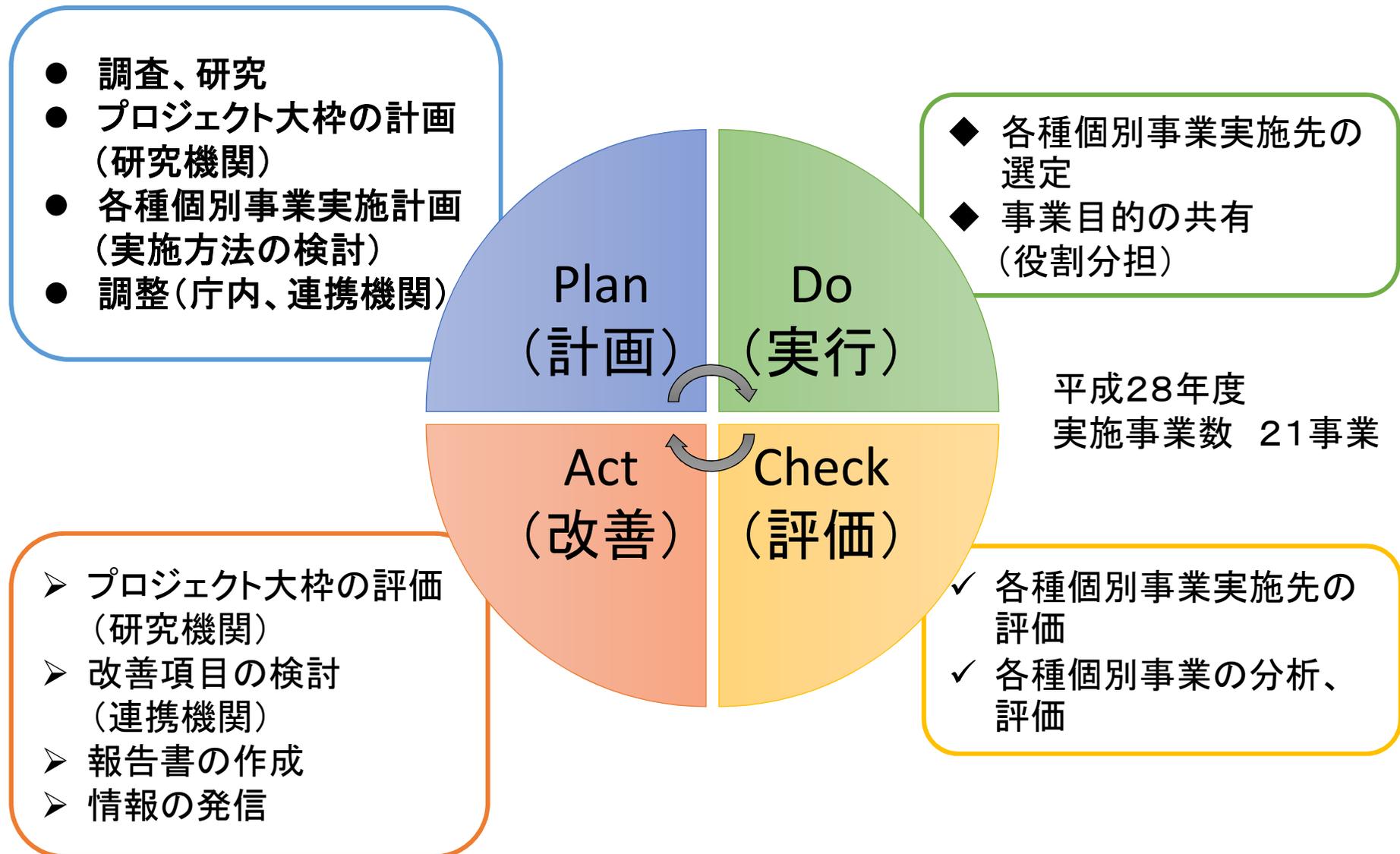
## 定量的観点

- ✓ 医療費の適正化、健康寿命の延伸、健(検)診受診率の向上
- ✓ 健康づくり推進計画の数値目標の設置  
⇒健康づくり推進会議

# 三芳町健康長寿プロジェクト(産官学連携)



# 三芳町健康長寿プロジェクト事務局(健康増進課)の業務内容



# 組織体制の整備

平成9年度～

保健センター 常勤管理栄養士 1名 + 雇いあげ栄養士 1名  
各種事業を実施

平成18年度

常勤管理栄養士・栄養士 計4名 + 雇い上げ1名  
全て常勤職員(町職員2名、県職員2名)

学校給食センター 1ヶ所 2名 (県職員)

保育所 3ヶ所 1名 (町職員)

保健センター 1ヶ所 1名 (町職員)

雇い上げ  
管理栄養士  
(平成19年度から配置)

《庁内(管理)栄養士》  
会議の開催(情報の共有)  
食育推進栄養連絡会

雇いあげ  
管理栄養士 6名  
各種事業の実施

平成28年度

管理栄養士・栄養士 常勤9名 + 雇い上げ5名  
常勤職員(町職員4名、県職員2名、民間職員3名)

- 保健センター 1ヶ所 2名 (町職員2名 + 雇いあげ5名)
- 学校給食センター 1ヶ所 3名 (町職員1名 + 県職員2名)
- 公立保育所 2ヶ所 1名 (町職員1名)
- 民間保育所 3ヶ所 3名 (各施設とも常勤)

平成29年度

庁内(管理)栄養士 + 雇い上げ管理栄養士

人材育成

# まとめ

約10年前からの業務を振り返ってみると、**様々なことを考え実践したことが**、結果的に業務の効率化につながり、組織体制が整備され、人材育成が推進されていた

これって政策づくり？  
これも政策づくり？

日々の業務での工夫 ↔ 政策づくりでの試行錯誤

## 行政栄養士の 専門性

- 常勤の管理栄養士(行政栄養士)としての**役割**は何か？
- 最新**情報**を**入手**するには？
- **総合行政の枠組み**を理解するには？

## 業務の効率化と 組織体制の整備

- いま行っている**業務(事業)**の**優先順位**は？
- **多部門**と積極的に**連携**するには？
- **情報**を**入手**するには？

## 人材育成

- 日々展開している事業をPlan(計画)、Do(実行)、Check(評価)、Act(改善)で**考える**には？
- 先を**見通せる**チカラを身につけるには？